

経済指標ウォッチャー

法人企業統計調査 製造業は経常利益が増益に転じる

自動車産業や工作機械産業を中心に今後設備投資の回復を見込む

法人企業統計調査とは？

財務省が金融・保険業を除く営利企業の財務状況について調査した統計。全企業を資本金額や業種別に分類し、売上高や経常利益、設備投資などの財務諸表の項目が集計されていることから、国内の企業活動の実態を概ね把握することができる。なお、資本金1,000万円以上の企業を対象として四半期ごとに実施される『四半期別調査』は、3月、6月、9月、12月の初旬に公表される。

製造業は経常利益が増益に転じる

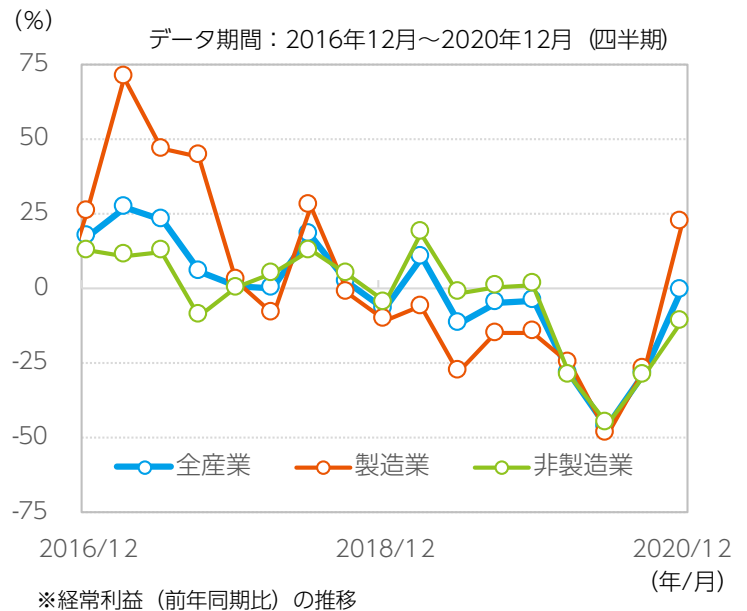
3月2日に財務省が発表した2020年10～12月期の法人企業統計調査によると、全産業（資本金1千万円以上、金融業、保険業を除く）の経常利益は前年同期比-0.7%と前期の同-28.4%から改善しました（図表1）。2019年4～6月期から7四半期連続のマイナスですが、2020年4～6月期を底に回復傾向にあります。業種別では、製造業が同+21.9%、非製造業が同-11.2%と対照的な結果となりました。製造業では、自動車の輸出が好調であり輸送用機械（同+68.1%）が大きく回復しました。また、中国向けの工作機械受注が伸びたことなどから生産用機械（同+71.7%）の大幅な改善もみられました。非製造業では、外出自粛の影響から、運輸業・郵便業（同-102.6%）や、宿泊や飲食などのサービス業（同-36.9%）の大幅な減少が目立ちました。

自動車産業等で今後設備投資の回復を見込む

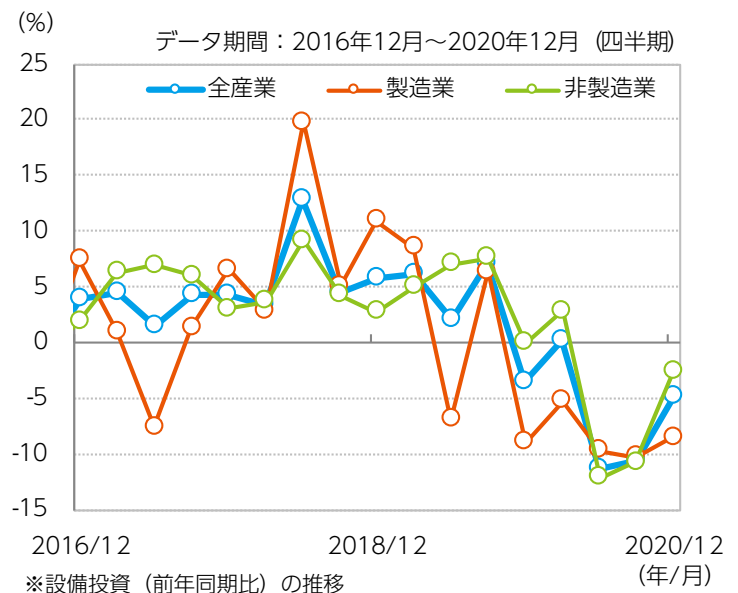
全産業の設備投資は同-4.8%と前期の同-10.6%から改善しましたが（図表2）、事前予想（同-2.0%）を下回りました。業種別では、製造業が同-8.5%、非製造業が同-2.6%となりました。製造業は増益に転じたものの、新型コロナウイルス感染拡大による景気の先行き不透明感が続いていることから、設備投資に慎重な姿勢が続いているものとみられます。

足元では、製造業の設備投資は低迷しているものの、輸出が好調である自動車産業や工作機械産業を中心に今後設備投資は回復するものと見込みます。

図表1：製造業は経常利益が増益に転じる



図表2：製造業の設備投資は低迷している



【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

コールセンター 0120-762-506
9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）
ホームページ <https://www.nam.co.jp/>